

# 平成30年度事業報告書について

## 平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

### I 事業概要

#### 1. 情報収集及び提供事業

【自主事業】2,042千円

##### (1) 技術情報誌 (KITEC INFORMATION) の発行

技術情報誌である「KITEC INFORMATION」を年4回発行し、情報提供を実施した。

主な内容	・支援企業の紹介 ・国の最新施策の広報 ・センター事業の紹介、案内、報告、募集 等
------	--

##### (2) ホームページによる情報の提供

会員企業など地域の研究開発型中堅・中小企業との双方向コミュニケーションを図るためメールマガジンを定期発行し、ホームページへの閲覧を促した。

主な内容	・センター概要 ・産業技術振興支援 ・人材育成助成事業 ・募集、案内、トピックス 等
------	---

#### 2. 産業技術振興事業

237,444千円

##### (1) 九州地方成長産業戦略に基づくイノベーション創出事業

【JK A補助事業】

15,886千円

九州産業技術センターが委嘱した12人のコーディネータが九州の研究開発型中小企業を訪問し、技術的な課題を抽出して、他の企業等とのマッチングやアドバイス等を通じて、事業化を目指すとともに、ブラッシュアップ研究会での検討等を経て、サポイン事業等の国の技術開発事業に申請して事業化を目指す。さらに、成功報酬型コーディネータに繋いで、事業化を実現する事業である。

(注) JK A：自転車・小型自動車公営競技を振興する公益法人、売上の一部を機械振興と公益事業振興に補助している。

##### ① イノベーション創出調査研究

コーディネータが活動した案件の技術やビジネスとしての優位性や市場ニーズを踏まえた事業性や事業化の可能性等について、有識者で構成する「事業推進委員会」「事業化可能性検討分科会」「事業性評価WG」を開催し、事業の推進や発掘・調査した案件の事業化に向けて、他方面から検討した。

また、コーディネータ・プロデューサによる企業伴走を下記の項目により実施した。

### a. 機械工業振興チャレンジ研究調査（公募）

大学・公設試・企業等に対して公募を行い14件の応募があった。事業推進委員会の審議を経て6件を採択した。

案件毎の研究会を開催し、技術的課題を検討し、市場動向の分析等を行った結果、6件のうち、2件が事業化を達成し、4件は平成31年度サポイン等の国の産学技術開発事業に申請する予定である。

研究題目	参加機関・企業	成果
光線力学療法用体内埋め込み型ワイヤレス発光デバイスの開発	(同)プレアデステクノロジー 九州大学	国の提案公募型プロジェクト事業等へ応募予定。
精密ロッドピンの先端球面形状の高速機上計測技術の開発	(株)ワークス 長崎大学	次年度追加研究の後、国の提案公募型プロジェクト事業へ応募予定。
光触媒塗料と塗装技術開発による国産杉材の高付加価値化事業	(株)ケミカルクリエイト 九州工業大学 (株)日東 田島山業(株) 大谷塗料(株)	事業化
人生100年時代に必要な歯磨きシステムに必要な機能研究	歯っぴー(株) 九州歯科大学	国の提案公募型プロジェクト事業等へ応募
圧電型超音波振動子とPVDFフィルムセンサの組み合わせによる蓄尿量測定記録計の開発	サイエンスリサーチ(株) 佐賀大学 日本光電(株)	事業化
低熱膨張金属箔膜の電鍍技術開発	(株)熊防メタル 九州産業大学 九州大学	戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）へ応募予定。

### b. コーディネータ活動およびブラッシュアップ研究会

コーディネータによる企業の技術や事業化のニーズ調査や、企業等が保有する知財やノウハウ等のシーズ調査及びニーズとシーズを他の企業や、研究機関等に繋ぐマッチングの活動を合計106件行った。

コーディネータ活動件数や・ブラッシュアップ研究会の設置件数が目標を下回っているため、コーディネータの募集や活動方法等を含め、効率的な在り方を検討する。

項目	ニーズ調査	シーズ調査	マッチング	合計	ブラッシュアップ研究会
	83件	4件	19件	106件	20件
年間目標		—		150件	26件

### c. アジア環境エネルギービジネスセミナーの開催

九州の中小企業の海外市場開拓を支援するため、約1億人の人口を有し、半数が30才未満と若く、さらに、成長に伴う水質浄化などの環境・エネルギーが課題となっているベトナムの市場動向や政策等の最新の情報を提供するセミナーを開催した。

期 日	内 容	参加者
11月5日	・ベトナム4省によるPRセミナー ・九州の環境企業3社によるベトナム展開取組事例について紹介	113名 (62機関)

#### d. ニーズ説明会の開催

首都圏を中心とした大企業や海外企業のニーズと九州の中小企業とのマッチングにより、業務提携・事業化を目指したニーズ説明会を開催した。

期 日	内 容	進捗状況
11月14日	(株)ケイエスピーによる、大手企業4社33件の技術ニーズ及びドイツ自動車会社のスタートアップ企業募集についての説明等、ビジネスマッチングを促進する説明会を開催 参加者35名 (20機関)	1件の提案がありマッチングに成功し、自立自走

## (2) 戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン)

【国の補助事業】

170,394千円

産学が連携して我が国の産業に必要な高度部材や新製品を開発し、国際競争力の強化と新事業の創出を目的とした技術開発事業であるサポイン事業について、本年度は2件の新規事業と5件の継続事業の事業化に向けて、事業管理機関として経産省から受託を受け、企業・大学・研究機関等と連携した効率的な事業運営を行った。

基盤技術分野	件 名	再委託・再補助先	成 果
材料製造プロセス	紙おむつ焼却量の削減および処理料金低減を目的とした、紙おむつ由来プラスチックの脱塩素処理技術等による、紙おむつの完結型マテリアルリサイクルプラントシステムの開発 【平成28年度～平成30年度】	トータルケア・システム(株) (株)ヤブサメ 福岡女子大学国際文理学部	開発中の再生プラスチック製造装置による製品は目標値をクリア。システム及び製品の物性等顧客評価を実施、製造工数の削減を検討した。
複合・新機能材料	電池の大容量化、充放電速度の高速化及び高サイクル特性並びに低コスト化を目的とした、アルミニウム繊維を集電体として用いた革新的リチウムイオン電池の開発 【平成28年度～平成30年度】	I&Tニューマテリアルズ(株) (株)ファインテック 九州大学大学院工学研究院	アルミ繊維不織布による電極の開発は、レート特性、大容量化、サイクル特性共目標値をクリア。展示会への出品等販路開拓を実施した。
接合・実装	水銀法規制対応の為の低温プラズマ技術を活用した高効率・高演色性が実現可能な水銀レス無電極ランプ装置の開発 【平成28年度～平成30年度】	天草池田電機(株) (有)松島化成 上智大学理工学部	基本技術開発は目標値をクリア、製品評価を実施。発光効率をさらに上げるため、封入ガスの探索とガラス管の最適形状を検討。

精密加工	<p>消化器内視鏡手術における早期がんを切除するための切断性能が高く、高レスポンスの動力伝達性能を有する高周波を使わないはさみの開発 【平成 29 年度～平成 31 年度】</p>	<p>(株)ファインテック ロボフューチャー(株) 長崎大学大学院工学研究科</p>	<p>等倍試作品による切断性能の検証を終え、刃湾曲部内側Rの現状最適値を見出した。</p>
精密加工	<p>タブレット逐次鍛造法を用いた低価格な防水型USB Type-Cコネクタと振り子ダイス式逐次鍛造成形機の開発 【平成 29 年度～平成 31 年度】</p>	<p>(株)東郷 九州工業大学 大学院情報工学研究院 鹿児島県工業技術センター</p>	<p>仕様の変更(羽根厚変更、改良ユニット作成カムスライド方式等)を行った事により工程がシンプルになった。温感から冷感技術の開発を検討。</p>
情報処理	<p>配線方法で機能が変わる「マスター回路」と「ミニマルファブ」を組み合わせた多品種適量半導体の短納期、低コスト製造を実現する、新しい半導体製造技術の開発 【平成 30 年度～平成 32 年度】</p>	<p>(株)ロジック・リサーチ (国研)産業技術総合研究所九州センター</p>	<p>マスター回路の仕様検討、設計を行った。マスクレス露光装置への適用と露光工程の開発を進める。</p>
測定計測	<p>高齢化社会における生活習慣病の早期発見のため、老化赤血球のスクリーニング及び非老化赤血球の変形能が測定可能な2ステップ・フィルトレーション法による自動測定装置の開発 【平成 30 年度～平成 32 年度】</p>	<p>(株)レオロジー機能食品研究所 九州大学医学研究院 (株)パラマテック 医療法人社団ブックス</p>	<p>全血からの白血球の除去法の検討、自動測定装置の要求仕様の検討と開発を開始。</p>

**(3) 地域中核企業創出・中小企業等連携支援事業**

**【国の委託事業】**

46,515 千円

**① 航空機部品分野**

4,442 千円

**航空機エンジン部品・内装品等の多工程一貫生産サプライチェーンの整備による 航空機産業の裾野拡大促進事業**

航空機の部品製造において、技術・品質・コスト・納期等の管理能力を有する多工程一貫受注可能な生産体制の構築に向け、九州航空宇宙開発推進協議会と連携しながら地域中核企業を中心としたサプライチェーンを整備し、新たな地域中核企業の創出と地域産業の裾野拡大を図るための活動を実施した。

**a. 品質管理能力及び生産体制等の高度化**

多工程一貫の受注を請けるため、受注から納品までの過程で必要となる管理能力、生産体制の高度化に向け、社外コンサルによる指導を実施した。

実施期間	名称	内容	実績
9月～10月	内部監査員養成セミナー	JIS Q 9100:2016 規格の要求事項に適合する内部監査員養成セミナー	3回

12月～2月	品質管理等能力高度化セミナー	JIS Q 9100:2016 規格に基づく顧客満足を高めるため、品質管理や生産管理の基本を、事例や演習にて高度化するセミナー	3回
--------	----------------	---	----

## b. 生産能力向上に向けた指導

航空機部品の製造は高い技術力が要求されるため、専門家による指導を受けながら部品加工に係る実践的なトレーニングを実施した。また、併せて専門家やPMによる指導等を実施した。

実施期間	内 容	実 績
6月～2月	パートナー企業による部品加工トライアルの実施	4企業
11月～2月	自社製作可能な部品加工トライアルに関する指導	4回

## ② 環境・エネルギー分野

19,306千円

九州の環境・エネルギー産業の振興を図る九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）の事務局として、最新の企業情報等の提供、異業種との交流、展示会出展、商談会及び中核企業等のフラインバブル市場への参入を図る産学研究会を開催し、会員企業の新製品・サービスの開発や販路拡大等を支援した。

また、水質浄化やリサイクル関連企業の海外市場への拡大を図るため、台湾・ASEANの関係機関との商談会やセミナー等を開催し、MOU等を締結した。

### a. 国内事業

#### (a) 情報発信の強化

環境・エネルギー分野の最新動向、国の政策等や新商品・サービス開発等の情報を、ホームページやメールマガジンを活用し提供した。

内 容	回 数
ホームページを活用した情報発信	35
メルマガ配信（K-RIP会員限定、一般向け）	80

#### (b) 異業種ネットワーク構築事業

異業種との連携・ネットワーク形成を目的とした、K-RIP 会員によるプレゼンや最新の環境エネルギー分野の動向等の情報提供を行うエコ塾を開催した。

期 日	内 容	参加者
通年（8回/年）	エコ塾（福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県）	延べ480名

#### (c) ビジネスマッチング交流会事業

##### (7) 市場開拓支援事業（展示会出展）

環境エネルギー関連企業の新規取引先やビジネスパートナー発掘、売上拡大、自社製品・サービスの市場評価の見定め等で、今後のビジネス展開の検討を図るため、九州内外の大型環境見本市等への参加を支援し、プレゼンや個別商談会を実施した。

期 日	展示会 名称	場 所	出展企業数	成果等
10/10(水)～12(金)	エコテクノ 2018	北九州	4 社	商談 32 件
1/30(水)～2/1(金)	InterAqua 2019	東 京	5 社	商談 30 件
1/30(水)～2/1(金)	ENEX 2019	東 京	2 社	商談 31 件

#### (イ) 環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー

新事業創出が期待できる各地域のニーズとシーズの情報収集のみならず、セミナー運営協議会各構成メンバーが連携を図りながら、地域枠を超えた多様なアライアンスマッチングを実施した。

期 日	セミナー・出展	場 所	企業数 (会員数)	成果等
10/11(木)	環境 AMS in 九州	北九州	4 社(0 社)	商談 19 件 (他地域企業)
12/12(水)	環境 AMS in 沖縄	沖 縄	4 社(1 社)	商談 2 件(会員企業)
2/7(木)～2/8(金)	環境 AMS in 川崎	川 崎	5 社(1 社)	商談 2 件(会員企業)

#### (d) 個別プロジェクト支援事業

##### (ア) ファインバブル研究会

九州にはファインバブルの装置メーカーの集積が進んでいるポテンシャルを活かし、技術開発等を通じた新市場や用途の開拓を目的として、九州内外の産学官 30 機関で構成するファインバブル研究会を設置し支援した。

開催日 (回数)	内 容	参加者
7/6、11/8、3/5 (3 回)	九州ファインバブル環境技術 WG	装置メーカー、企業・団体 行政・自治体等
9/14 (1 回)	九州ファインバブル環境技術海外 展開戦略研究会	装置メーカー 九州経済産業局

##### (イ) ファインバブルセミナー商談会

ファインバブル技術の一層の向上と活用を目的に、ビジネスに直結する具体化・事業化の実証・マッチング等を図った。

開催日	場 所	内 容	参加者	件数
9/4	鹿児島	ファインバブル セミナー商談会	主に開催県内の企業・団体等、 装置メーカー、行政・自治体等	商談 23 件
2/15	沖縄			商談 24 件

#### b. 海外事業

##### (a) ASEAN 等環境・リサイクル等産業交流事業

環境・エネルギー分野の技術・装置・システムの販売やミッション成果を上げるための現地生産を目的とした実証・業務提携などの参加企業等の具体的なニーズや課題を把握した上で、ベトナムの企業等とのビジネスマッチングや政府、自治体等の交流を行った。

期 日	内 容	参加者
12/17(月)～ 12/21(金)	九州－ベトナムビジネスミッション 2018	参加企業等：7 社 参加者：10 名

### (b) 台湾環境・エネルギー産業交流事業

参加企業の具体的なニーズ把握した上で、台湾の業界団体・企業とのマッチングや交流を行い、業務提携等の具体的なビジネスの創出に努めた。なお、九州企業の台湾での事業展開を促進し、台湾との貿易・投資の拡大を図るため、本事業の一部は、台湾の貿易・産業協力振興財団 (ITIC) の助成金により実施した。

期 日	内 容／参加企業・団体等	成果等
5/21(月)～ 5/23(水)	台湾ミッション受入(商談会、セミナー) ／台湾資源再生協会	セミナー参加者 88 名 商談 19 件、視察 8 件
6/14(木)	台湾環境エネルギービジネス交流会 ／台日産業連携推進オフィス (TJPO)	セミナー参加者 46 名 商談 28 件、視察 1 件
7/16(月)～ 7/20(金)	台湾ミッション派遣(事前協議) ／日本企業 3 社	商談件数 10 件
8/27(月)～ 8/31(金)	台湾ミッション派遣(本派遣) ／日本企業 6 社	商談 25 件 合意文書 3 件 (MOU、NDA、MOA 各 1 件)
11/26(月)	台湾新北市訪日視察団との意見交換会 ／企業プレゼン 4 社	参加者 20 名

### (c) 地域中核企業支援プロジェクト(ハンズオン型)

K-RIP のネットワーク・ノウハウ等を活用し、新事業展開に向けた事業化戦略の立案/販路開拓等を支援するなど、本プロジェクトに参加する地域中核企業の更なる成長のための支援事業を行った。

### (7) 環境・エネルギー分野における強みを活用した海外展開支援事業

期 日	内 容(訪問先)	参加企業	備考
10/28(日)～ 11/3(土)	マレーシア(マラッカ、セランゴール、クアラルンプール)	・(株)くりんか、 ・協和機電工業(株) [マレーシア法人]	訪問先 7 団体
3/11(月)～ 3/15(金)	ベトナム(ホーチミン)	・(株)くりんか、 ・協和機電工業(株) [ベトナム法人]	訪問先 5 団体

### (イ) 塩化鉄・リサイクル技術分野の異分野展開及び都市鉱山リサイクル推進事業

期 日	内 容(訪問先)	参加企業	備考
12/2(日)～ 12/6(木)	台湾(台北市、新北市、台南市、高雄市)	・(株)アステック入江	訪問先 9 団体
2/24(日)～ 3/1(金)	タイ(バンコク)	・(株)アステック入江	訪問先 3 団体

## ③ 医療機器・ヘルスケア分野

22,767 千円

九州のヘルスケア産業の振興を図る「九州ヘルスケア産業推進協議会 (HAMIQ)」の事務局として、半導体や自動車産業への参入等において蓄積した先端の精密加工技術等を有する地域中核企業の医療機器分野への新規参入、医療機器メーカーの医療・介護サービス事業者とのマッチングによる新製品開発、内外の販路開拓、IoMT (Internet of Medical Thing) や遠隔医療等の IoT を利活用した新システムやサービスの開発、及び生活習慣病等の予防に大きな役割を果たすヘルスケアサービスの新規ビジネスの創出を支援した。

## a. 医療機器分野

### (a) 地域中核企業の販路開拓事業

2社の地域中核企業の展示会出展・説明会参加を通じ、販路開拓を支援した。

実施時期	支援企業	内 容
7月～3月	アルパック機工(株)	再生医療機器展、看護関係学会への出展を通じ開発機器の周知や販路開拓を支援
7月～3月	(株)デンケン	リハビリ関連学会への出展、機器操作説明会の開催や個別相談会等を通じ販路開拓を支援

### (b) 医療機器販売事業者とのマッチング事業

地域中核企業の医療機器分野への進出を促進するため、福岡県・大分県の医療機器製造事業者と首都圏の医療機器販売事業者とのマッチング会及びニーズ探索会を開催した。

期 日	場 所	名 称	内 容	参加者	面談数
7月6日	大分市	ビジネスマッチング会開催	医療機器開発のシーズを有する福岡、大分県等の企業と首都圏等の医療機器製造販売会社とマッチングを実施	16社	9件
10月25日	飯塚市			25社	21件
11月30日	大分市	ニーズ探索会	大分大学医学附属病院の臨床現場のニーズ発表及び九州のものづくり企業とのマッチングを実施	31社	5件

### (c) 中核企業と医療学会等とのマッチング

日本内視鏡外科学会等の学会やアジアメディカルショーなどの大規模展示会に中核企業等が参加し、交流やマッチング事業を行った。

名 称	開催期間	会 場	結 果
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	6月14日～16日	福岡国際会議場	医工連携出合いの広場へ出展CD派遣による情報交換
アジアメディカルショー	6月22日	福岡国際会議場	20機関の出展支援、CD派遣による情報交換
国際福祉機器展	10月10日～12日	東京ビックサイト	6機関の出展支援、CD派遣による情報交換
日本内視鏡外科学会総会	12月6日～8日	福岡国際会議場	医工連携広場へ出展、CD派遣による情報交換

### (d) 海外事業展開

企業の台湾への医療機器の販路拡大を目的とした九州・台湾交流ミッションに参加し、台湾企業等との商談会を開催した。

期 日	事業名	参加企業	商談件数
8月30日	九州・台湾交流ミッション2018	株式会社デンケン	3
		ヘルメット潜水株式会社	4



## b. ヘルスケア分野

### (a) ヘルスケア産業セミナー2018

我が国のヘルスケア機器やサービスの最新動向の提供及び九州のヘルスケアの先導的な取り組みを通じ、新規参入や新製品・サービスの創出を支援した。

期 日	名 称	内 容
6月22日	ヘルスケア産業セミナー 2018 (福岡市)	経済産業省ヘルスケアサービス産業課長によるヘルスケア産業の今後の展開をテーマとした講演及び第5回ヘルスケア産業づくり貢献大賞授賞者のプレゼンテーションを実施 九州内外の企業・大学・産業支援機関・行政から320名が参加

### (b) IoMTフォーラム

医療機器をインターネットでヘルスケアのシステムと繋ぎ、リアルタイムでの医療データの収集・解析を通じて、より科学的な治療や遠隔診療、さらに予防等の新しい医療サービスを創出するとともに、再診の手間やコストの低減を推進することを目的としたフォーラムやIoMTを活用した起業を支援する会合を開催し、IoMTの概念や先進的事例等を紹介した。

期 日	名 称	内 容	参加者
2月22日	IoMT FORUM in Kyushu (福岡市)	医療・介護業界においても遠隔画像診断などのIoMT関連の革新的な医療機器・サービスが誕生しつつあり、フォーラムではIoMTの概念や先進的な事例の紹介	150名
3月22日	IoMT「未来塾」 (熊本市)	医療現場のニーズを知る医療関係者自らが起業し、IoMTを実装しようとしている先駆的な取り組みを紹介することで更なる企業や開発状況を紹介	95名

### (c) 医療放射線学会とHAMIQのマッチング

放射線科学及びその関連分野に関する関係者1万人で構成する医療放射線学会とのネットワークを構築するため、HAMIQの活動や会員の技術等を紹介した。

期 日	名 称	内 容
10月5日 ～7日	第54回医療放射線学会 秋季臨床大会 (福岡市)	医療放射線学会会場に展示ブースを設置し、九州ヘルスケア産業推進協議会の活動の紹介やワイズ・リーディング社の画像診断技術等を紹介

### (d) 鹿児島市ヘルスケアビジネス・アクセラレーションプログラム支援

鹿児島県主催のヘルスケア関連ビジネスの創出を目的とした企業化支援事業に参加し、ヘルスケアビジネスの事業化の講演やビジネスプランの審査等を行った。

期 日	名 称	内 容
9月4日	鹿児島市ヘルスケアビジネス・ アクセラレーションプログラム	九州におけるヘルスケアビジネスの事業化戦略(オープンイノベーションの重要性)の講演
10月15日		ベンチャー企業等のヘルスケアビジネスプランの審査

### (e) 地域中核企業創出・支援

ヘルスケアサービス分野への参入や新事業展開に対する技術的かつ戦略や経営面でのアドバイス等による事業化を支援するプロジェクトマネジャー（専門家）を配置し、ヘルスケアサービスの市場創出や事業化に取り組む2社の活動を支援した。

実施期間	支援企業	内 容
11月～3月	正興ITソリューション(株) (福岡市)	健康経営や健康寿命延伸の普及拡大を目的として、正興ITソリューション(株)が開発したクラウドサービスを利用したウォーキングアプリの実証事業を実施
3月1日	㈱くまもと健康支援 研究所(熊本市)	医療と介護サービスを一体的に提供するため、医師会や介護サービス事業者との協働により、在宅医療と介護の連携を図る地域包括ケアシステム構築支援セミナーを開催(福岡県久留米市)

### (f) ヘルスケアサービスの事例等の情報発信

全国のヘルスケア推進協議会の活動状況や健康寿命延伸プロジェクトの取組み等ヘルスケア関連の先導的な新ビジネスの事業化の取組みや支援機関の活動を紹介した。

期 日	名 称	発行
12月27日	九州ヘルスケア最前線 Healthcare NEXT VOL.4	1000部
2月28日	九州ヘルスケア最前線 Healthcare NEXT Vol.5	1000部

### (g) 九州ヘルスケア産業最前線 2019

全国のヘルスケア推進協議会の活動状況や健康寿命延伸プロジェクトの取組み等ヘルスケア関連の先導的な新ビジネスの事業化の取組みや支援機関の活動を紹介した。

期 日	名 称	内 容	参加者
3月13日	九州ヘルスケア産業 最前線2019 (福岡市)	○各地域でのヘルスケアサービス活動の事例紹介 ○健康寿命延伸新規プロジェクトの実証成果の発表 インテグリティ・ヘルスケア、芙蓉開発、サンキュードラッグ、リーフラス、みやまパワー、南風病院	135名

## C. 遠隔医療分野

医療分野における医療費、医師の偏在、リスクの高い診療科の医師数の減少、離島を含む地域医療などの様々な課題を解決する方法として遠隔医療が期待されている。IoMT や AI を利活用した遠隔画像診断支援システムなどの革新的な医療機器・サービスを創出するため、遠隔医療に関する技術力やシステム及び機器等の知見等を有する九州の遠隔医療ビジネスの事業化等を支援した。

#### (a) 未来医療セミナー

期 日	名 称	内 容	参加者
11月25日	未来医療セミナー ～急激な医療イノベーション 時代の到達～ (鹿児島市)	AI・IOT・VR等を最新技術を利用した再生医療、個別化医療などの次世代医療及び革新的な新薬や医療機器の開発による医療イノベーション創出を通じた成長と健康長寿社会の実現することを目的としたセミナー	50名

#### (b) AMI (株) の遠隔医療技術の事業化

水俣市の医療機器ベンチャーの AMI (株) が開発した「超聴診器」の特許技術等の国内出願や米国出願の支援を行った。また、その機能や使用方法を展示会等で紹介する PR 用動画の作成を行った。

期 日	名 称	内 容
12月～2月	心疾患自動診断アシスト機能付き遠隔医療対応聴診器「超聴診器」に関する特許権の取得	①特許申請書の作成 ②米国特許申請書の作成 ③米国特許庁への申請

#### (4) ものづくり中小企業事業化支援事業(海外事業化支援事業)

【国の委託事業】

3,802千円

世界最大規模のフランス・トゥールーズにて開催された航空宇宙分野のビジネス商談会・展示会であるエアロマート等を活用し、海外販路開拓を支援。

##### ア) 海外航空機メーカー等への販路開拓

期 日	名 称	内 容	成果
12月2日 ～12月8日	エアロマートトゥールーズ 開催場所： フランス トゥールーズ、パリ	世界最大級の航空宇宙分野の国際ビジネス商談会参加 九州から3社	商談 6件

#### (5) オープンイノベーション・ソリューション・サイトの運営・管理

【自主事業】

748千円

新事業、新製品開発に必要な技術や部材等（ニーズ）を本サイトに登録し、そのニーズに対する九州の企業・公設試等からの提案（シーズ）を募集し、ニーズとシーズを KITEC の専門技術者が橋渡しして、業務提携や事業化等のオープンイノベーションを支援した。

415 件のニーズ提案、97 件のシーズ提案に対し、66 件のマッチングを行った。

九州サイトの活性化のため、九州地域未来牽引企業 506 社に対し、案内とチラシを送付した。

平成 31 年 3 月末現在

区 分	件 数 (九州サイト)	件 数 (全サイト)
ニーズ登録	1 1 2	4 1 5
シーズ提案	0	9 7
マッチング	0	6 6

このサイトは大阪産振機構が平成 24 年 4 月に開設、同 10 月に当財団が連携。  
現在、2 府 14 県のネットワークを構築している。

### 3. 普及啓発事業

409 千円

#### (1) 地域技術交流事業

【自主事業】

298 千円

##### ① 九州・沖縄地区国立大学法人共同研究センター長会議

産学官連携に関して、九州・沖縄の国立大学を中心とした地域共同研究センター長と情報交換を行った。

期 日	場 所	内 容
11 月 29 日	大分市	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学官共同研究の拡大とそれに伴うマネジメントにおける課題</li> <li>産学官連携、大学発ベンチャー支援人材の円滑な確保と育成</li> </ul>

##### ② 国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センターのオープンイノベーションデーに参画

産総研の最新の技術開発等情報の提供・情報交換及び、研究成果の民間企業への橋渡しに繋げるための交流の場として開催されるオープンデーに参画した。

期 日	場 所	内 容
11 月 16～17 日	宮崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州各県の公設試の機械装置の利用促進のためパネル展示</li> <li>専門家による技術相談</li> </ul>

#### (2) 国際技術交流事業

【自主事業】

111 千円

##### ① 第 17 回環黄海経済・技術交流会議及び第 25 回九州（日本）・韓国経済交流会議

九州・中国・韓国の相互交流による新産業等の創出を目的とした 3 か国の産学官で構成する第 17 回環黄海経済・技術交流会議に参加し、イノベーションを通じた新産業・新市場の創出をテーマとしたフォーラムや関係者との交流を行った。

開催地：大韓民国全羅北道群山市

期 日：11 月 19 日～11 月 21 日

テーマ：「地域間交流の促進」「イノベーションを通じた新産業・新市場の創出」による「環黄海地域の経済交流モデルの構築」

#### 4. 振興支援事業

3,057 千円

##### (1) 九州オープンイノベーションセンター構想研究会

【自主事業】

1,579 千円

世界や日本のオープンイノベーションの現状を把握し、九州におけるオープンイノベーションのあり方を検討するとともに、その推進拠点として、2020年4月を目途に、(一財)九州産業技術センターと(一財)九州地域産業活性化センターの統合による九州オープンイノベーションセンター(仮称)の発足などを検討するため、両センターの役員企業、大学、経済団体、自治体、中小企業等で構成する、九州オープンイノベーションセンター構想研究会を設置し検討を行った。

回数	期 日	内 容
第1回	平成30年11月8日	オープンイノベーション現状と課題
第2回	平成31年2月20日	第1回の課題等を踏まえた オープンイノベーションの支援機関のあり方検討
第3回	平成31年4月26日	九州オープンイノベーションセンターの機能、事業内容の 検討、取りまとめ

##### (2) 九州イノベーション創出戦略会議 (KICC)

【自主事業】

1,192 千円

九州のイノベーション創出戦略会議の事務局として、企業の技術課題解決に資する活動及び、ビジネスモデル構築を支援し、地域発のイノベーション創出の加速化を図った。

###### ① 通常総会の開催

期 日	内 容	参加者
8月1日	総会 平成29年度事業実績報告 平成30年度事業計画(案)、役員等の選任(案)を審議	49名
	基調講演 「大阪ガス株式会社のオープンイノベーション活動」 大阪ガス 株式会社 イノベーション推進部 オープンイノベーション室 室長 樋口 裕思氏	103名
	特別講演1 「新たな産業自動化革命実現に向けた～I <sup>3</sup> -Mechatronics」 株式会社 安川電機 理事・営業本部産業調査室 室長 古瀬 利博氏	
	特別講演2 「紫外線殺菌装置 エアロシールドにおける大企業との取組について」 エネフォレスト 株式会社 代表取締役 木原 寿彦氏	

## ② 試験研究機器等データベースの更新と活用促進

KICC 構成機関の大学・高専、各県公設試、産業支援機関等が協力して整備した開放試験研究機器データベースについて、最新のデータに追加・更新し、利用の周知、活用に努めた。

## ③ ニーズとシーズのマッチングによるオープンイノベーションの推進

オープンイノベーションに積極的な大手企業の今すぐ欲しい技術や部材等（ニーズ）を公開し、それに対する九州の企業や大学等の提案（シーズ）を繋いで、双方にとって事業化を目指す技術ニーズ説明会を開催した。

期 日	場 所	内 容	進 捗 状 況
10月30日	福岡市	大阪ガス(株)による、7分野62件のニーズの説明会を開催	51名参加 5企業、1大学から13件の提案があり、3件の面談を実施

## ④ 各機関コーディネータのネットワークの構築

K I C C 構成機関のコーディネータ・マネージャー等の連携・交流を図るため、プロフィール集を作成し、配布する。また、ホームページへの掲載を検討する予定。

## (3) 技術相談

【自主事業】

55千円

企業の様々な技術課題に対し、九州イノベーション創出戦略会議ネットワークと産総研九州センター福岡サイトの協力を得て技術相談や企業紹介を行った。

主な内容	・ グラファイトの成形加工、強度強化ができる技術・企業の紹介 ・ 災害時使用可能なソーラー発電システム 他6件
------	--

## 5. 人材育成事業

【自主事業】

4,701千円

九州の産業技術の振興を図るため、大学・工業高等専門学校 of 工学系の若手研究者の長期・短期留学及び国際研究集会参加に対し、外部委員で構成する選考委員会で選考の結果、8件の助成を実施した。

区 分	研 究 件 名	留 学 先	留 学 期 間 等
国 外 留 学	将来のクリーンエネルギー社会の実現に向けた固体酸化物を用いた分解システムに関する研究 九州大学大学院 工学府 水素エネルギーシステム専攻	マサチューセッツ工科大学 (アメリカ)	H30. 4. 2 ～ H30. 12. 21 (9か月)
国 際 研 究 集 会	有機薄膜太陽電池に向けた新規狭バンドギャップπ共役低分子系材料の開発 九州大学大学院 工学府 物質創造工学専攻	ペルージャ (イタリア)	H30. 6. 10 ～ H30. 6. 14 (5日間)
	パルスパワーを用いた光ディスクからの金属剥離機構 熊本大学大学院 自然科学研究科 複合新領域科学専攻	ワイオミング (アメリカ)	H30. 6. 2 ～ H30. 6. 9 (8日間)
	金属/n型ドーパ高分子半導体における電子注入の評価 九州大学総合理工学府 量子プロセス理工学専攻	カンクン (メキシコ)	H30. 9. 30 ～ H30. 10. 4 (5日間)

国際 研究 集会	揚水発電システムを用いたパブリックグリッドにおける太陽光発電シェアの増加の影響、九州におけるケーススタディ 北九州市立大学国際環境工学部 建築デザイン学科	ソウル (韓国)	H30. 8. 24 ～ H30. 8. 28 (5 日間)
	焼酎粕由来活性炭を用いたフレキシブルキャパシタの電極厚みの最適化の検討 福岡工業大学大学院 工学研究科電気工学専攻	パリ (フランス)	H30. 10. 13 ～ H30. 10. 18 (6 日間)
	発電機を装備した固定式振動水柱型波力発電装置の一次および二次変換効率 佐賀大学 海洋エネルギー研究センター	ブタペスト (ハンガリー)	H30. 9. 4 ～ H30. 9. 7 (4 日間)
	高周波電圧信号重畳による誘導機におけるインピーダンス特性の検討 福岡工業大学大学院 工学研究科電気工学専攻	済州市 (韓国)	H30. 10. 7 ～ H30. 10. 10 (4 日間)

## 6. 収益事業

### (1) 成功報酬型コーディネータ事業

収入 4,076 千円

コーディネータが企業に出向き、課題を抽出し、課題を解決するための事業計画の策定から販路開拓まで伴走型で継続的に支援する成功報酬型のコーディネート事業として、平成 27 年度から開始し平成 30 年度に制度の見直しを行った。

#### ① 活動実績

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	内 容
新規企業発掘	3	23	優位な技術を有し、新製品開発・市場開拓を目指す中小企業の調査・発掘等
契約前プレ支援事業	8	22	要素技術・コア技術の発掘 事業化の課題等の抽出と解決方法等の提示 知財の有効活用等の提示等
契約後支援事業	163	128	事業化計画の検討 知財活用先、試作先、共同開発相手、販売先等の探索と交渉 成功報酬契約項目の実践等
合計	174	173	

	平成 29 年度	平成 30 年度
成功報酬額 (千円)	4,043	4,076

#### ② 成功報酬型の契約と報酬実績

##### a. 平成 27 年度～平成 29 年度契約分 9 件

企 業	支援事業	支援内容	成功報酬
A社	石灰開発品の医療機器参入	・ 機器認証許可 ・ 製品販売	・ 許認可取得時 30 万円 ・ 当該製品の利益の 10%

B社	壁面調査用ロボットの開発支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作品の開発</li> <li>・特許等の知財対応</li> <li>・量産体制の構築</li> <li>・製品販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作品完成時 50 万円</li> <li>・特許登録時 5 万円/件</li> <li>・量産ライン完成時 50 万円</li> <li>・当該製品の利益の 20%</li> </ul>
C社	水素水製品の開発支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作品の開発</li> <li>・特許等の知財対応</li> <li>・製品販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量産化達成時 100 万円</li> <li>・特許登録時 5 万円/件</li> <li>・当該製品の利益の 20%</li> </ul>
D社	医療機器の開発支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作品の開発</li> <li>・特許申請</li> <li>・製品販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量産化達成時 20 万円</li> <li>・特許登録時 2 万円/件</li> <li>・当該製品の利益の 10%</li> </ul>
E社	グラファイト素材の利活用支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切削屑のリサイクル</li> <li>・知財戦略立案</li> <li>・販路開拓</li> <li>・新規製品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル化達成時 50 万円</li> <li>・特許登録時 5 万円/件</li> <li>・当該製品の利益の 20%</li> </ul>
F社	新規事業 試作開発及び事業化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価計算</li> <li>・製造技術管理</li> <li>・知財戦略立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作事業に関わる売上の 30%</li> <li>・当該事業のロイヤリティーの 30%</li> </ul>
G社	福祉用医療機器の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該製品の営業利益の 20%</li> </ul>
H社	新規事業に係る支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部資金導入</li> <li>・顧客開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獲得資金の 5%</li> <li>・当該製品の売上の 5%</li> </ul>
I社	技術の開発及び事業化に関する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作品開発</li> <li>・資金調達</li> <li>・技術供与等</li> <li>・事業譲渡等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発費の 5%</li> <li>・調達資金の 5%</li> <li>・ロイヤリティーの 5%</li> <li>・売却費の 5%</li> </ul>

報酬金額 平成 30 年度 1,176 千円

**b. 平成 30 年度契約分 7 件**

企業	支援事業	支援内容	成功報酬
J社	新規事業に係る支援 医療機器の販売支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発コンサル</li> <li>・顧客開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発コンサル料</li> <li>・当該製品のロイヤリティーの 10%</li> </ul>
K社	製品開発支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作品開発</li> <li>・展示会出展の支援</li> <li>・製品の用途開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10 万円/月</li> </ul>
L社	当該製品の販路に係る支援 事業譲渡に係る支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途開発支援</li> <li>・販路拡大支援</li> <li>・事業譲渡支援</li> <li>・知財戦略支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業、製品のロイヤリティーの 20%</li> <li>・譲渡（事業、設備）金の 20%</li> </ul>
M社	知財戦略 新規事業化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知財戦略の立案、実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10 万円/月</li> </ul>
N社	特許の譲渡支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特許譲渡支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有償譲渡金の 20%</li> <li>・ロイヤリティーの 25%</li> </ul>
O社	特許の譲渡支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特許譲渡支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有償譲渡金の 20%</li> <li>・ロイヤリティーの 25%</li> </ul>
P社	特許の使用権に係る支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特許の使用権契約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50 万円/件</li> </ul>

報酬金額 平成 30 年度 2,900 千円



**(2) 産業技術振興支援（事業化支援）****収入 597 千円**

当財団の非常勤コーディネータ（事業化プロデューサ）と協働して、九州の研究開発型企業を訪問して、技術課題や事業化等の経営課題を発掘し、3社を有償で継続的にコンサルティング等を行う有償支援事業を実施した。

支援企業	内 容
Q社	<ul style="list-style-type: none"><li>・新規事業計画の策定支援。</li><li>・販売計画の策定支援。</li><li>・新規事業担当のOJT及び社内体制整備。</li></ul>
R社	<ul style="list-style-type: none"><li>・LED照明事業の業務提携先の探査及び調整。</li><li>・販売促進の為に代理店等の開拓及び調整。</li><li>・販売先の探査、紹介、取次、販売支援。</li><li>・平成31年度より（非常勤）成功報酬型契約に移行予定</li></ul>
S社	<ul style="list-style-type: none"><li>・ビジネスモデルの検討</li><li>・マーケティング戦略の立案及び販売促進等事業化支援</li></ul>